

点字の一覧表

●点字は縦3点横2点の6つの点の組合せからなる音標文字です。

① ④
② ⑤
③ ⑥

●点字を書くときは、右から左へ横書きです。
目の不自由な人が読むときは凸面を指先で左から右へ読みます。

五十音

あ	い	う	え	お	ま	み	む	め	も
か	き	く	け	こ	や	ゆ	よ		
さ	し	す	せ	そ	ら	り	る	れ	ろ
た	ち	つ	て	と	わ	を	ん		
な	に	ぬ	ね	の					
は	ひ	ふ	へ	ほ	長音符	促音符			

数字

数符を前置します					
数符	1	2	3	4	5
	6	7	8	9	10



社会福祉法人 山梨ライトハウス
〒400-0064 甲府市下飯田二丁目10-1 電話 055(222)3502

運動の趣旨

県民一人ひとりが、目が見えない・見えにくい方たちを正しく理解し協力すると共に、目が見えない・見えにくい方たち自らも積極的に自立し、進んで社会活動に参加することのできる「ユニバーサル社会」の実現を目指す県民運動です。

運動の目標

安全な移動環境の整備

- ① 目が見えない・見えにくい方が困っているのを見かけたら、必要に応じて声をかけ協力する。
- ② 安全に歩行したり、公共交通機関を利用できるよう環境を整備する。
- ③ 公共交通機関、飲食店及び宿泊施設等へ盲導犬が同伴できるよう啓発する。

自立就労支援の拡大

- ① 目が見えない・見えにくい方からの相談や自立訓練に応じ、日常生活や社会生活の質の向上を図る。
- ② 関係機関と連携し、さまざまな訓練等を通じて雇用継続及び就労の拡大を図る。
- ③ 鍼灸マッサージ業を守り、無資格者をなくすと共に、ヘルスキーパー、訪問マッサージなどの職域の拡大を図る。



ふれあいのポイント①

白い杖（白杖）は、道路の段差や障害物などの情報を得たり、目が見えないことをまわりの人へ知らせる役目があります。

ふれあいのポイント②

目の不自由な方には、盲導犬ユーザー（使用者）もいます。盲導犬が眼輪（ハーネス）を着用している時は仕事なので、声をかけたり、触れたり、食べ物を与えたりしないでください。



ふれあいのポイント③

目の不自由な人を誘導する時は、「手引きしますのでひじを持ってください」と言い、誘導する人は、目の不自由な人の半歩前を歩きます。



ふれあいのポイント④

視覚障害者誘導用ブロック（点字ブロック）は、目の不自由な方が道路を歩く際、「安全に進んだり、止まれること」を目的として設置されています。自転車など物を置かないでください。



第71回 白い杖愛護運動

期間 令和7年11月1日から11月30日まで



主催 山梨県 山梨県教育委員会 社会福祉法人山梨ライトハウス

後援 山梨県社会福祉協議会 山梨県市長会 山梨県町村会 山梨県共同募金会
山梨県連合婦人会 山梨県交通安全協会 山梨県公立小中学校長会
山梨県高等学校長協会 山梨日日新聞社 山梨放送 NHK甲府放送局
読売新聞甲府支局 テレビ山梨 山梨県立盲学校 山梨県障害者福祉協会
山梨県ボランティア協会 山梨青い鳥奉仕団 山梨県視覚障がい者福祉協会
山梨県眼科医会 山梨アイバンク 山梨県タクシー協会 山梨交通株式会社
富士急行株式会社 甲府市ガイドヘルパー「わの会」